



THE ROTARY CLUB OF KUSHIRO WEST 2011~2012(平成 23 年~24 年)

釧路西ロータリークラブ会報

創立 昭和 45(1970)年 6 月 8 日 承認 昭和 45(1970)年 6 月 10 日



2011~2012 RI テーマ 「地域社会にロータリーを活かそう!!」

《本日のプログラム》 2 月 6 日 12:30

普通例会

世界理解推進月間プログラム

《次回のプログラム》 2 月 13 日 18:00

夜間例会

クラブフォーラム

《例会日: 毎週月曜日 12:30~13:30》

《例会場: 釧路全日空ホテル 釧路市錦町 3-7》

会長 加納 則好 幹事 小泉 和史

■クラブ事務所■

釧路市幸町14丁目1-1 ノースコートサンスイ2F

TEL(0154)23-6175 FAX(0154)23-6123

2012 年 2 月 6 日(月) 第 26 回 通算 1951 回

【点鐘】 加納会長

【国歌斉唱】・【ロータリーソング唱和】 「奉仕の理想」 ソングリーダー：櫻田会員

【会長挨拶】 加納会長



2月は国際ロータリーの定める、「世界理解推進月間」であります。23日はロータリー創立記念日であり、併せて世界理解と平和週間とされております。手続要覧によりますと、各クラブはこの日に、国際理解、友情、平和へのロータリーの献身を特に認識し、強調するとあります。一年間のほとんど毎月協調事項として推進するように指定されているロータリーの特別月間は、クラブだけでなくロータリアン一人ひとりがロータリーの活動に参加するように強調するため、RI 理事会が特別に指定した月間であることを確認したいと思います。

またこれらの機会をとらえて、さらに理解を深め、充実した活動となりレベルアップすることを期待します。

【幹事報告】 小泉幹事



- ・ 国際ロータリー第 2500 地区より日本事務局財団室からのお知らせとロータリー・カードのご案内が届いております。
- ・ 近隣クラブからプログラム及び会報が届いております

【委員会報告】

○広報委員会 山本副委員長
ロータリーの友 2月号の紹介

○親睦活動委員会 高木親睦委員長
「ニコニコ献金内訳」

☆入会記念	山本 秀基	会員
☆本人誕生	山本 秀基	会員
	那知 哲	会員
☆奥様誕生	加納 則好	会員
	真岩 勝司	会員
	三木 克敏	会員
	山本 秀基	会員



【本日のプログラム】 担当 国際奉仕

●会員卓話

《佐藤 雅之 会員》



入会したのは、私が30歳の時なので、今年8月で丸15年となります。1997年入会当時、例会場は鳥取の十条サービスセンター(現ビッグハウス)2階の十条会館で行われておりました。会員数は64名と記憶しております。その年の会長は、沼田建築設計事務所の沼田 昭さんで、幹事は、もりよしプライダルの森 義治さんでした。森さんには、今でもたまに駅裏の居酒屋で会うことがあります。

当時、例会に出席する度、例会以外にも楽しみがありました。それは、十条サービスセンター内で商売をされている会員が多かったからです。例会が終了して1階に降りて行くと、丹葉会員のボン・フォト・カメラのタンバがあり、佐藤道博会員のさとうスポーツがあり、家具を販売していた木幡会員のライコーがあり、家電販売をしていた高橋哲姿会員のそうご電器と、いつもより道をして世間話をし、たまに買い物もしておりました。

私も今とは違い30歳と、初々しく素直だったものですから、ずいぶん会員の皆さんにかわいがってもらいましたし、ロータリーのことはもちろん、商売のこと、自分の生い立ちなど、当時の会員は私の父親と同じ世代の方が多かったので、自分の父親には今更恥ずかしくて聞けないようなことを、良いことも悪いこともいろいろ教えてもらい、とても勉強になりましたし、全てが新鮮で楽しかったです。

当時、ロータリークラブのエリアと言いますか、テリトリーがありまして、西ロータリークラブと言われるとおり、特別な場合を除き釧路川以西に会社もしくは、自宅がある人しか入会できなかったと記憶しております。そんな中での64名ですから西地区の地域密着と言いますか、会員相互の関係がすごく濃いもののように感じました。西地区にいらっしゃいます現会員はもちろん、王子製紙の玉置工場長、日本製紙の藤村工場長、金融機関だけでも北洋銀行十条支店の境支店長、北海道銀行西港支店の岩崎支店長、釧路信用金庫西港支店の浜野支店長、根室信用金庫西港支店の小濱支店長、釧路商工信用組合西港支店の大町支店長など5名の方が在籍しておりました。

64社の64名ですから、顔と名前が一致せず、ずいぶん苦労しました。当時、新入会員は、そのほとんどが親睦活動委員会に入ったのも、早く顔と名前が一致するよにこの事でした。また、64名皆それぞれ個性的でしたが不思議と一つにまとまっている感じがしました。

ここで、私の入会した1997年の活動内容を当時の会報から見てみますと、9月8日に、この年の7月6日に完成した釧路市民防災センターを見学しております。人工呼吸の体験がとても恥ずかしかったことを覚えております。

この年のライラセミナーは、第18回で根室にて行われており、当時は新世代ではなく青少年奉仕委員会と言われておりました。

9月29日に行われたクラブ奉仕担当のクラブフォーラムでは、テーマを「出席と親睦」としてありますが、これだけの人数で家庭集会の参加率85パーセントにも達しているのは驚きです。

10月に、私にとっては初めての地区大会が北見でありました。当クラブの参加人数は会員21名、夫人5名の計26名でした。記念講演は「大人は若者にどう付き合ったらよいか」でしたが、残念ながら内容は今では何も覚えておりませんが、会場でのむせ返るほどのハッカのにおい、懇親会での食べきれないほどの豪華な料理、そして2次会の盛り上がりはしっかり覚えております。

11月11日、ガバナー公式訪問がありまして、この年は梶浦ガバナー、そして今ではガバナー補佐と言われておりますが、大月健司第7分区代理が見えられておりました。

12月20日、年忘れ家族会が行われました。参加人数は150名、総合司会は鶴田親睦活動委員長でゲストは大月分区代理、釧路北ローターアクトクラブから5名、釧路工業高等専門学校の留学生7名と、盛大に行われました。チャリティーオークションの益金は市役所共同募金会(歳末助け合い運動)と釧路新聞社を通じて、ステップ共同作業所へ献金されました。

明けて1月7日釧路北、ベイ、西の3クラブ合同新年恒例会が釧路プリンスホテルにて、乾杯を坂本一パストガバナー、三本締めは大月健司第7分区代理により盛大に行われました。

5月18日、例会終了後、献血奉仕活動を行いました。思えば例会場と献血場所が同じ十条サービスセンターでしたので、西クラブの会員が献血バスの中で並んで採血されていたのを思い出しました。みんなにぎやかに採血を呼びかけていました。

6月12日、環境保全委員会三宮委員長のもと、ハマナス植栽に西ロータークラブ15名参加で行われました。

そして6月29日、第45回通算1356回をもちまして、沼田丸は帰港しました。その年度の100パーセント出席者の発表が太田出席委員長よりありまして、この年は16名で、その中には現会員の三宮会員、鶴田会員、川島会員、山本会員そして、当時はとても素直でまじめな私、佐藤雅之が記録されておりました。

以上です。

《山本 秀基 会員》



平成3年1月入会からの国際奉仕についての話をさせていただきます。

西クラブに入会した当時は会員数が多く2500地区の中でも青少年の交換留学では物凄く熱心なクラブでした。当時、青少年交換だけを担当する委員会もありました。その委員会は各少委員会のなかでも花形の委員会でした。自分たち入会当時は当然親睦活動委員会か出席委員会に入れられました。その当時、地区の委員長に、西クラブから出ておりました。また、毎年交換留学生が出たり入ったりして大変そちらのほうではにぎやかでした。

入会したの頃は先輩ロータリアンからローターにノーはないと教えられていたので交換留学生を預かるように言われてサリー・マカラさんのホストファミリー3ヶ月間させていただきました。引き受けるときはしぶしぶだったのですが3ヶ月間終わってみると引き受けてよかったと思いました。最近は交換留学も少なくなりました。少なくなった理由は日本に留学しがっている欧米の学生が少なくなったことです。日本に留学をしたいと希望するのは

アジアの国の学生でそこで交換留学が成立しないということが原因と聞いています。

交換留学についてはクラブの会員が少なくなったからなどの理由ではなく少ない人数のクラブでもまた機会があれば取り組んでいきたいと思います。

《例会運営委員会 大場委員長》

2月 6日	在籍数	29名	出席免除者	6名	出席義務者	23名	「編集:大場会員」
	名誉会員	1名	出席者	14名	欠席者	15名	出席率 48.3%

会報委員長: 金田 剛 副委員長: 中川 陽市
委員: 櫻田 美香 真岩 勝司 大場 恵治 小泉 和史